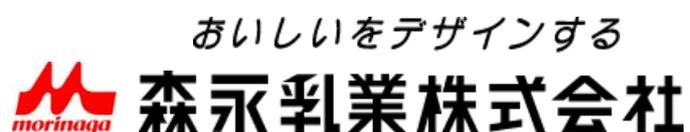


平成19年3月期  
決算説明資料  
(平成18年4月～平成19年3月)



平成19年5月  
証券コード：2264

## 当 資 料 の 構 成

### I 平成19年3月期決算の概況

#### II 単体決算関連

- (1) 要約損益計算書
- (2) 要約貸借対照表
- (3) その他

#### III 連結決算関連

- (1) 要約連結損益計算書
- (2) 要約連結貸借対照表
- (3) 要約連結キャッシュ・フロー計算書
- (4) その他

※ 当資料の表示等に関する注記

①当期…平成19年3月期、前期…平成18年3月期

②金額の表示単位…表示単位未満切捨て

③前年差、前年比…それぞれ対前年増減額、増減率を示す

④当期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」を適用しており、前期の純資産の部は、改正後の表示方法に組替えて記載しております。

### I 平成19年3月期決算の概況

#### 損益計算書

(単位：百万円、%)

	単 体			連 結			連単倍率	
	当 期	前 同 比	売上比	当 期	前 同 比	当 期	前 期	
								売上比
売 上 高	440,001	100.0	+2.7	578,257	100.0	+4.7	1.31	1.29
営 業 利 益	4,952	1.1	+4.2	10,623	1.8	+16.4	2.15	1.92
経 常 利 益	7,601	1.7	+3.9	12,535	2.2	+10.9	1.65	1.55
当 期 純 利 益	3,021	0.7	+11.4	5,329	0.9	+39.7	1.76	1.41

#### 貸借対照表

(単位：百万円、%)

	単 体			連 結			連単倍率	
	当 期	前 同 比	構成比	当 期	前 同 比	当 期	前 期	
								構成比
総 資 産	283,298	100.0	+1.7	342,972	100.0	+1.0	1.21	1.22
負 債	209,281	73.9	+2.6	241,166	70.3	+1.5	1.15	1.17
純 資 産	74,016	26.1	△0.8	101,806	29.7	+0.0	1.38	1.36

#### 連結の範囲等

	当 期	前 期
連結子会社	29社	28社
持分法適用非連結子会社	7社	5社
持分法適用関連会社	—	—

## Ⅱ 単体決算関連

### (1) 要約損益計算書

(単位：百万円、%)

	当期	売上比	前期	売上比	前同差	前同比	説明
売上高	440,001	100.0	428,627	100.0	11,373	+2.7	①
売上原価	326,651	74.2	316,901	73.9	9,749	+3.1	
売上総利益	113,350	25.8	111,725	26.1	1,624	+1.5	②
販売費及び一般管理費	108,397	24.6	106,973	25.0	1,424	+1.3	③
営業利益	4,952	1.1	4,752	1.1	200	+4.2	
営業外収益	4,266	1.0	4,010	0.9	256	+6.4	④
営業外費用	1,617	0.4	1,448	0.3	169	+11.7	④
経常利益	7,601	1.7	7,314	1.7	287	+3.9	
特別利益	2,458	0.6	3,886	0.9	△1,428	△36.7	⑤
特別損失	3,883	0.9	6,326	1.5	△2,442	△38.6	⑤
税引前当期純利益	6,176	1.4	4,874	1.1	1,301	+26.7	
法人税等	1,937	0.4	1,024	0.2	912	+89.1	
法人税等調整額	1,218	0.3	1,137	0.3	80	+7.1	
当期純利益	3,021	0.7	2,712	0.6	308	+11.4	

#### ①売上高の状況

(単位：百万円、%)

製品分類	金額						数量	
	当期	構成比	前期	構成比	前同差	前同比	当期	前同比
市乳計	205,493	46.7	194,391	45.3	11,102	+5.7	914,807	+7.0
牛乳類	75,040		74,645		395	+0.5	449,862	+1.6
乳飲料等	59,298		50,361		8,936	+17.7	278,522	+17.5
ヨーグルト	52,838		52,456		382	+0.7	150,442	+5.9
プリン等	18,316		16,927		1,388	+8.2	35,979	+8.2
乳製品計	93,224	21.2	90,068	21.0	3,156	+3.5	103,716	+4.7
練乳	4,585		4,488		97	+2.2	9,389	+2.1
粉乳	42,691		43,261		△570	△1.3	41,827	+1.2
バター	11,690		11,218		472	+4.2	12,476	+7.6
チーズ	34,257		31,100		3,157	+10.2	40,022	+8.5
アイスクリーム	44,356	10.1	40,132	9.4	4,223	+10.5	89,664	+10.8
その他計	96,926	22.0	104,034	24.3	△7,107	△6.8		
飲料	34,815		31,992		2,822	+8.8	246,682	+11.2
その他	62,111		72,042		△9,930	△13.8		
合計	440,001	100.0	428,627	100.0	11,373	+2.7		

(注) 数量の単位は、乳製品はt o n、市乳、アイスクリームはk lで表示  
 その他計中のその他には、ゼリー、クリーム類などが含まれる

主な増減要因

市乳計

- 牛乳類…飲用牛乳の消費低迷の影響を受けたものの「森永のおいしい牛乳」が前期を大きく上回り前期並みの水準。
- 乳飲料類…「カフェラッテ プレミア」が加わりマウントレニアシリーズの売上が拡大し「リプトンミルクティー」も引き続き堅調に推移したことから、増収。
- ヨーグルト…「アロエヨーグルト」は前期を下回ったものの、プレーンタイプ、ハンディタイプや4Pタイプのフルーツヨーグルトが好調に推移したことにより、増収。
- プリン等…主力商品である「焼プリン」に加え、「プティポとろふわプリン」や「素材の仕事を」などの新商品が売上に貢献したことから、増収。

乳製品計

- 練乳…家庭用、業務用ともに前年を上回り、増収。
- 粉乳…前期の大幅な伸びの反動を受けたスキムミルクや「クリープ」が前年を下回った。調整粉乳は国内市場縮小傾向のなか「ドライミルクはぐくみ」などの拡売をはかり前期並みの水準。
- チーズ…家庭用チーズはクラフトブランドの「スライスチーズ」、「切れてるチーズ」や「6Pチーズ」などが好調に推移し、増収。業務用チーズも増収。
- アイスクリーム…「ピノ」や「MOW（モウ）」「PARM（パルム）」が好調に推移し、増収。
- その他計
  - 飲料…リプトンフルーツティーやサンキストジュースが好調に推移し、増収。
  - その他…酪農飼料販売を連結子会社である森永酪農販売(株)に移管したことにより、減収。実質的には流動食の好調もあり増収。

②売上総利益

原材料価格の上昇といった外部環境の悪化に加え、製造経費の増加、酪農飼料販売の移管による利益の減少があったものの、売上数量増加やプロダクトミックスの改善などにより、増益。

③販売費及び一般管理費の状況

(単位：百万円、%)

	当 期		前 期		前同差	前同比
		構成比		構成比		
主要な項目						
拡売費	53,230	49.1	51,117	47.8	2,112	+4.1
広告宣伝費	3,558	3.3	4,713	4.4	△1,155	△24.5
運送費・保管料	19,125	17.6	17,189	16.1	1,936	+11.3
従業員給料・賞与	14,345	13.2	15,114	14.1	△768	△5.1
福利厚生費	2,237	2.1	2,267	2.1	△29	△1.3
その他	15,900	14.7	16,571	15.5	△670	△4.0
合計	108,397	100.0	106,973	100.0	1,424	+1.3

主な増減要因

- ・拡売費、運送費・保管料は、主として売上高増に伴う増加。

## ④営業外損益の状況

(単位：百万円、%)

	当 期		前 期		前同差	前同比
		売上比		売上比		
営業外収益	4,266	1.0	4,010	0.9	256	+6.4
受取利息及び配当金	2,807	0.6	2,273	0.5	534	+23.5
雑収益	1,458	0.3	1,737	0.4	△278	△16.0
営業外費用	1,617	0.4	1,448	0.3	169	+11.7
支払利息	1,295	0.3	1,101	0.3	193	+17.6
雑損失	322	0.1	346	0.1	△24	△7.1

## 主な増減要因

- ・金融収支は受取配当金の増加などにより改善。
- ・雑収益は、前期に従業員の相互補助を目的とした設立されていた共済会を解散したことによる残余財産の分配があったことにより減少。

## ⑤特別損益の状況

(単位：百万円、%)

	当 期		前 期		前同差	前同比
		売上比		売上比		
特別利益	2,458	0.6	3,886	0.9	△1,428	△36.7
固定資産売却益	162	0.0	1,528	0.4	△1,365	△89.4
投資有価証券売却益	1,296	0.3	2,358	0.6	△1,062	△45.0
事業移転利益	1,000	0.2	—	—	1,000	—
特別損失	3,883	0.9	6,326	1.5	△2,442	△38.6
固定資産処分損	526	0.1	566	0.1	△40	△7.2
(財)ひかり協会負担金	1,693	0.4	1,608	0.4	84	+5.3
投資有価証券等減損処理額等	1,184	0.3	1,826	0.4	△641	△35.2
たな卸資産評価損等	208	0.0	1,947	0.5	△1,739	△89.3
減損損失	125	0.0	376	0.1	△251	△66.7
関係会社整理損	143	0.0	—	—	143	—
その他の特別損失	2	0.0	—	—	2	—

## 主な増減要因等

- ・固定資産売却益の減少は前期の神戸市土地売却によるもの。
- ・事業移転利益は森永酪農販売㈱への酪農飼料販売部門の移管によるもの。

## (2) 要約貸借対照表

(単位：百万円)

	当 期	前 期	前 同 差	説 明
流動資産	103,352	108,890	△5,538	
現金預金	2,508	9,682	△7,173	①
売上債権	58,738	53,285	5,452	②
たな卸資産	23,287	24,773	△1,486	③
その他	18,818	21,148	△2,330	④
固定資産	179,946	169,662	10,284	
有形固定資産	132,735	119,725	13,010	⑤
無形固定資産	2,709	2,709	0	
投資その他	44,500	47,227	△2,726	⑥
資産計	283,298	278,552	4,745	

	当 期	前 期	前 同 差	説 明
流動負債	137,695	130,270	7,424	
手形・買掛金	50,872	47,481	3,390	⑦
短期借入金	3,050	3,051	△0	⑧
コマーシャルペーパー	6,000	6,000	—	⑧
一年内償還社債	15,000	10,000	5,000	⑧
その他	62,772	63,737	△965	
固定負債	71,586	73,633	△2,046	
社債	45,000	45,000	—	⑧
長期借入金	17,905	18,956	△1,050	⑧
その他	8,680	9,677	△996	
負債計	209,281	203,903	5,377	
純資産計	74,016	74,648	△631	⑨
負債・純資産計	283,298	278,552	4,745	

## 主要項目の内容および増減要因

	前同差	主 な 要 因
① 現金預金	△7,173	前期末に神戸工場建設にともなう支払に備え手元資金を増加させたことによる。
② 売上債権	5,452	事業年度末の金融機関休日による影響および売上高の増加などによる。
③ たな卸資産	△1,486	主として原料乳製品の在庫が減少したことによる。
④ その他	△2,330	前期に土地売却による未収金の増加、未収法人税や未収消費税の発生があったことによる。
⑤ 有形固定資産	13,010	設備投資 26,266 減価償却費 △12,323 減損 △125 売却減失等 △808 神戸工場関連設備の増加などによる。
⑥ 投資その他	△2,726	前期末に比べ、投資有価証券の時価が下がったことによる。
⑦ 手形・買掛金	3,390	事業年度末の金融機関休日による影響および売上高増加に伴う仕入原料等の増加などによる。
⑧ 借入金・社債等	3,948	神戸工場や別海工場等の設備投資資金の調達にともなう増加。
⑨ 純資産計	△631	前期末に比べ、投資有価証券の時価が下がったことによる。

### (3) その他

#### ①設備投資および減価償却費の推移

(単位：億円)

	設備投資額			減価償却費	
	実績	(前年差)	うち生産設備 実績 (前年差)	うち販売設備 実績 (前年差)	実績 (前年差)
平成16年3月期	133	(△11)	105 (△5)	28 (△6)	122 (6)
平成17年3月期	118	(△15)	92 (△13)	26 (△2)	117 (△5)
平成18年3月期	251	(133)	226 (134)	25 (△1)	116 (△1)
平成19年3月期 (当期)	262	(11)	241 (15)	21 (△4)	123 (7)
平成20年3月期 (見込)	225	(△37)	197 (△44)	28 (7)	136 (13)

#### ②研究開発費の推移

(単位：百万円)

	実績	(前年差)
平成16年3月期	4,583	(174)
平成17年3月期	4,869	(286)
平成18年3月期	4,883	(14)
平成19年3月期 (当期)	4,785	(△98)

#### ③従業員数の推移

	9月末 実績 (前年差)	3月末 実績 (前年差)
平成16年3月期	3,433名 (△71名)	3,257名 (△95名)
平成17年3月期	3,382名 (△51名)	3,092名 (△165名)
平成18年3月期	3,184名 (△198名)	3,087名 (△5名)
平成19年3月期 (当期)	3,165名 (△19名)	3,036名 (△51名)

(注) 平成17年3月期の3月末より、出向者等を除く就業人員数で表示している。

なお、平成17年3月期3月末の出向者等は181名、平成18年3月期9月末の出向者等は188名。

#### ④集乳量の推移

(単位：千トン)

	集乳量			
	実績	(前年差)	うち北海道 実績 (前年差)	うち都府県 実績 (前年差)
平成16年3月期	820	(3)	449 (26)	371 (△23)
平成17年3月期	818	(△2)	460 (11)	358 (△13)
平成18年3月期	780	(△38)	475 (15)	305 (△53)
平成19年3月期 (当期)	811	(31)	467 (△8)	344 (39)

注) 上記①②③④の前年差は、それぞれ前年同期との差を示している。

### Ⅲ 連結決算関連

#### (1) 要約連結損益計算書

(単位：百万円、%)

	当期	売上比	前期	売上比	前年差	前年比	説明
売上高	578,257	100.0	552,171	100.0	26,085	+4.7	①
売上原価	407,275	70.4	389,006	70.5	18,268	+4.7	
売上総利益	170,981	29.6	163,164	29.5	7,816	+4.8	②
販売費及び一般管理費	160,358	27.7	154,034	27.9	6,323	+4.1	③
営業利益	10,623	1.8	9,130	1.7	1,492	+16.4	
営業外収益	3,739	0.6	3,881	0.7	△142	△3.7	④
営業外費用	1,827	0.3	1,705	0.3	121	+7.1	④
経常利益	12,535	2.2	11,305	2.0	1,229	+10.9	
特別利益	2,596	0.4	4,242	0.8	△1,646	△38.8	⑤
特別損失	4,916	0.9	6,872	1.2	△1,956	△28.5	⑤
税金等調整前当期純利益	10,215	1.8	8,676	1.6	1,539	+17.7	
法人税等	4,087	0.7	3,076	0.6	1,010	+32.9	
法人税等調整額	620	0.1	1,668	0.3	△1,047	△62.8	
少数株主利益	176	0.0	115	0.0	61	+52.9	
当期純利益	5,329	0.9	3,815	0.7	1,514	+39.7	

#### ①売上高の状況

(単位：百万円、%)

連結事業セグメント	当期	構成比	前期	構成比	前年差	前年比
1) 食品事業	554,478	95.9	527,426	95.5	27,052	+5.1
2) その他事業	35,185	6.1	31,242	5.7	3,942	+12.6
消去又は全社	△11,407	△2.0	△6,497	△1.2	△4,909	+75.6
合計	578,257	100.0	552,171	100.0	26,085	+4.7

「その他事業」には、飼料、プラント設備の設計施工、不動産の賃貸、運輸、倉庫業等が含まれる。

#### 食品事業

単体をはじめとし、生産・販売会社とも概ね好調であった。

#### その他事業

プラント設備の設計施工部門が好調であった。

#### ②売上総利益

原料高の影響を受けたが、増収効果とコスト削減により吸収し、前年比4.8%増(+7,816百万円)となった。

③販売費及び一般管理費の状況

(単位：百万円、%)

	当 期		前 期		前年差	前年比
		構成比		構成比		
主要な項目 (販売費)						
拡売費	64,476	40.1	60,396	39.2	4,080	+6.8
運送費・保管料	44,693	27.9	41,235	26.8	3,457	+8.4
従業員給料・賞与	11,954	7.5	13,038	8.5	△1,084	△8.3
(一般管理費)						
従業員給料・賞与	8,930	5.6	8,080	5.2	850	+10.5
その他	30,303	18.9	31,283	20.3	△980	△3.1
合計	160,358	100.0	154,034	100.0	6,323	+4.1

主な増減要因

- ・拡売費、運送費・保管料の増加は主に売上高の増加に伴うもの。

④営業外損益の状況

(単位：百万円、%)

	当 期		前 期		前年差	前年比
		売上比		売上比		
営業外収益	3,739	0.6	3,881	0.7	△142	△3.7
受取利息及び配当金	2,037	0.4	1,990	0.3	46	+2.3
持分法投資利益	152	0.0	127	0.0	24	+19.3
その他	1,550	0.3	1,763	0.3	△213	△12.1
営業外費用	1,827	0.3	1,705	0.3	121	+7.1
支払利息	1,479	0.3	1,286	0.2	192	+15.0
その他	348	0.1	419	0.1	△70	△16.9

主な増減要因

- ・金融収支は支払利息が増加したことにより前年に比べ145百万円悪化。
- ・その他営業外収益は、前期に従業員共済会の解散に伴う残余財産分配があったことなどにより減少。

⑤特別損益の状況

(単位：百万円、%)

	当 期		前 期		前年差	前年比
		売上比		売上比		
特別利益	2,596	0.4	4,242	0.8	△1,646	△38.8
固定資産売却益	1,264	0.2	1,569	0.3	△305	△19.4
投資有価証券売却益	1,299	0.2	2,366	0.4	△1,067	△45.1
その他の特別利益	32	0.0	306	0.1	△274	△89.4
特別損失	4,916	0.9	6,872	1.2	△1,956	△28.5
固定資産処分損	1,863	0.3	973	0.2	889	+91.4
(財)ひかり協会負担金	1,693	0.3	1,608	0.3	84	+5.3
投資有価証券減損処理額等	622	0.1	1,440	0.3	△818	△56.8
たな卸資産評価損等	208	0.0	1,947	0.4	△1,739	△89.3
減損損失	161	0.0	689	0.1	△528	△76.6
その他の特別損失	367	0.1	212	0.0	155	+73.4

主な内容

- ・当期の固定資産売却益及び固定資産処分損は、主として連結子会社の宝塚食品(株)が当社神戸工場の稼働に伴い、平成18年7月末をもって製造販売を中止したことにより発生。

## (2) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当 期	前 期	前 年 差	説 明
流動資産	114,227	117,349	△3,122	
現金預金	4,034	11,690	△7,655	①
売上債権	70,749	63,492	7,257	②
たな卸資産	30,144	32,089	△1,945	③
その他	9,298	10,077	△778	
固定資産	228,745	222,107	6,638	
有形固定資産	180,855	170,065	10,789	④
無形固定資産	3,555	3,537	17	
投資その他	44,335	48,503	△4,168	⑤
資産計	342,972	339,456	3,516	

	当 期	前 期	前 年 差	説 明
流動負債	148,127	140,268	7,859	
手形・買掛金	65,880	60,121	5,759	⑥
短期借入金	10,026	9,411	614	⑦
コマニヤル・ペーパー	6,000	6,000	—	⑦
一年内償還社債	15,000	10,000	5,000	⑦
その他	51,220	54,735	△3,514	⑧
固定負債	93,038	97,402	△4,363	
社債	45,000	45,000	—	⑦
長期借入金	25,779	29,287	△3,507	⑦
その他	22,258	23,115	△856	
負債計	241,166	237,670	3,495	
純資産計	101,806	101,786	20	
負債・純資産計	342,972	339,456	3,516	

## 主要項目の内容および増減要因

	前年差	主 な 要 因
① 現金預金	△7,655	単体の残高減の影響による。
② 売上債権	7,257	当期末日が金融機関休業日であったことによる影響の他、売上増に伴う増加による。
③ たな卸資産	△1,945	単体の残高減の影響による。
④ 有形固定資産	10,789	設備投資29,058 新規連結1,349 減価償却費△16,591 売却減失△2,865 減損△161
⑤ 投資その他	△4,168	単体の残高減の影響による。
⑥ 手形・買掛金	5,759	当期末日が金融機関休業日であったことによる影響の他、売上増に伴う仕入商品の増加等による。
⑦ 借入金・社債等	2,107	(単体との差)業績好調に伴う子会社の借入減少による。
⑧ その他	△3,514	単体の残高減の影響による。

## (3) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期	前期	前年差
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,832	17,969	9,862
税金等調整前当期純利益	10,215	8,676	1,539
減価償却費	16,672	16,588	84
投資有価証券売却益(益：△)	△1,299	△2,366	1,067
売上債権の増減額(増加：△)	△6,516	△1,859	△4,657
たな卸資産の増減額(増加：△)	2,087	983	1,104
仕入債務・未払費用の増減額(減少：△)	6,988	1,438	5,549
法人税等の支払額	△2,316	△6,189	3,872
その他	2,001	698	1,302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,390	△23,457	△11,932
有形固定資産購入額	△38,554	△23,495	△15,059
有形固定資産売却額	2,931	2,014	917
投資有価証券の取得による支出	△1,646	△3,690	2,044
その他	1,879	1,714	165
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166	8,410	△8,577
長期債務の増減額(減少：△)	1,917	15,132	△13,215
短期債務の増減額(減少：△)	△489	△5,142	4,652
配当金の支払額	△1,519	△1,519	0
その他	△75	△60	△14
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	35	△27
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△7,716	2,958	△10,674
現金及び現金同等物の期首残高	11,268	6,625	4,643
連結子会社増加に伴う期首残高増加額	151	1,685	△1,533
連結子会社合併に伴う期首残高増加額	55	—	55
現金及び現金同等物の期末残高	3,759	11,268	△7,508
借入金・社債残高	101,806	99,698	2,107
フリーキャッシュ・フロー	△7,557	△5,487	△2,070

当期のキャッシュ・フローは営業収入の増加、期末たな卸資産の減少及び法人税等の支払額の減少などにより営業キャッシュ・フローは増加したものの、神戸工場をはじめとする設備投資の増加により、フリーキャッシュ・フローは前期に比べ20.7億円減となった。

なお売上債権及び仕入債務・未払費用の増は、主として期末日が金融機関休業日であったことによる。

## (4) その他

## ① 設備投資および減価償却費の推移

(単位：億円)

	設備投資額		減価償却費	
	実績	(前年差)	実績	(前年差)
平成16年3月期	184	(△21)	170	(7)
平成17年3月期	186	(2)	163	(△7)
平成18年3月期	284	(98)	165	(2)
平成19年3月期(当期)	290	(6)	165	(0)
平成20年3月期(見込)	295	(5)	180	(15)

## ② 研究開発費の推移

(単位：百万円)

	実績	(前年差)
平成16年3月期	4,662	(155)
平成17年3月期	4,963	(301)
平成18年3月期	4,997	(34)
平成19年3月期(当期)	4,893	(△104)